

# 報 ずずらんの里

2013年 11月号 No. 152

発行者

〒869-5161  
八代市葭牟田町435番地  
特別養護老人ホームずずらんの里  
Tel 0965-39-7511  
Fax 0965-39-7512  
施設長 福田道子

## 秋の行楽へ、どがけつ...

### 熊本動植物園



10月3日、利用者10名、家族3名、職員9名の総勢22名で熊本市動植物園へとバスハイクに出かけました。10月にしては日差しが強く、太陽の下では真夏を感じさせるような陽気でしたが、木陰に入ると秋風が心地よい絶好の行楽日となりました。

朝9時30分バスに乗り込み出発です。行きのバスの中ではマイクを回し自己紹介をしたり、クイズをしたりと遠足気分で大盛り上がり、あつという間に動物園に到着しました。

園内に入るとさっそく「はいチーズ」と全員で記念撮影。満面の笑顔に皆さんのワクワク感がこちらにも伝わってきました。記念撮影後、園内を散策し、ぞうやライオンサイなど次々に動物を見ては「ふとかな〜」「はじめて見た」など驚きと喜びの歓声があがっていました。



モルモットをだっこされる動物好きの坂本マツエさん(98)

動物とのふれあいコーナーではモルモットを抱きかかえ「かわいかな、やわらかかな」とその愛くるしさに癒され、また、



岩崎フミエさんと村上敏蔵さんは仲良く、新幹線の乗り物に乗って園内を周遊したりと思い思いに楽しまれていました。そのような中、塩塚昭敏さんは動物や風景を次

々に写真に収め、思い出つくりにも励まれていました。



平江恵さんとご家族様

今回の楽しみの一つお昼ごはんは、園内のレストランに入り、カレーやハンバーグ、から揚げ定食などそれぞれ好きなものを注文し、美味しそうに、いつもよりたくさん食べておられました。昼食後もきれいなコスモス畑を散策したり、珍しい熱帯の動物を見学したり

と楽しい時間を過ごした後、帰路につきました施設に帰り着き「今日はどうでしたか?何の動物がいましたか?」と利用者に尋ねると、「どこにも行つたらん」「八代宮」「犬ば見た」などの珍回答もありました。動物園での動物と触れ合ったその瞬間、瞬間の笑顔と瞳は本当に楽しそうに輝いていたことを私たちは忘れません。



最後は皆さんで記念撮影

とつても楽しく思い出深い、秋の日の一日となりました。

生活相談員 垣原勝美



# 昔を懐かしむ

## 懐かしそうにされていた駄菓子コーナー

去る9月29日(日)に今年も「昔を懐かしむ会」を開催しました。

食堂ホールに駄菓子子の屋台や金魚すくい、ビデオ鑑賞をしながらおやつを味わうスペースを作りました。

今年の金魚すくいでは本おやつで提供しないラムネ物の金魚や金魚をすくうポイを用意し、縁日などで見かける金魚すくいを演出しました。

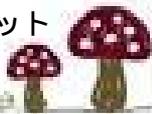


懐かしそうにされていた駄菓子コーナー

赤星ツギ工さん(98)は金魚すくいに挑戦され、一生懸命すくっておられ、たくさんすくって笑顔を見せて笑顔をみせておられました。他の利用者の方々も集中して逃げ回る金魚をすくっておられました。

駄菓子コーナーでは普段

11月11日(月)第15回すずらんの里文化祭を開催します。  
10:30~14:00  
オカリナコンサート、演芸、フリーマーケットなど



塩塚昭敏さん(86)はイカ串を食べられ、「こやんとかつまかった」と美味しそうに食べておられました。今年も皆さんに喜んでいただく事ができ、今後も続けていきたいと思えます。

介護職員 上田有希

# 委員会紹介

## 感染委員会

【メンバー構成】

介護職員 3名

看護職員 1名

栄養士 1名

生活相談員 1名

【委員会の目的】

施設の感染対策指針のもと衛生管理委員会や口腔ケア委員会と協力し、連携を図る事で感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための対策など感染対策を行っています。

【委員会の取り組み】

メンバーが中心となり定期的に行います。

祝 おめでとうございます  
~11月の誕生者~

村上 鍬蔵様

(T.12.11.1 90歳)

市川 シズエ様

(S.2.11.16 86歳)

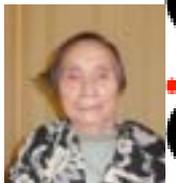
私は誰でしょう?



委員長 看護職員 田川裕子

ヒント；私はデイサービスで勤務している女性職員です。この写真は生後四カ月のころです。趣味は掃除をする事で、休日は家族とゆっくり過ごしたり、娘の大会の応援に行く事です。好きな言葉は「ありがとう」です。これからも宜しくお願いします。

\*10月号の正解は、山中恵美さんでした。



【最後に】

に施設内感染対策チェック、感染症及び食中毒の流行状況確認と対応(マスク手洗い、手指消毒の徹底)、感染対策に関連する物品の見直しや導入、年2回施設内研修を行っています。

【現在取り組んでいる事】

流行性の感染症に対する対応のマニュアル改訂後の実施・研修・行為・手洗いの実施推進。口腔ケア委員会と協力し口腔衛生等についての研修に参加しております。

感染症の原因である細菌やウイルスは目に見えません。私達はいろいろな細菌類と共存(身体に必要な細菌もたくさんいます。)しており身体自体を「無菌」にする事は不可能です。感染予防の取り組みは施設内での努力では達成出来るものではありません。これからの季節風邪症状のある方、胃腸炎の症状のある方には面会の制限もしております。

広報紙における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。